

平成12年3月期業績見通し及び利益配当金について

当社の第146期（平成12年3月期）の業績につきまして、今般その見通しを得ましたので、お知らせいたします。

当期のわが国経済は、景気は緩やかながら改善基調にあるものの、民間需要の回復力は依然力強さに欠け、総じて厳しい状況で推移しております。一方、米国経済は引き続き好調を維持し、アジア経済につきましても急速な回復が続いております。

鉄鋼業につきましては、国内需要は依然として不振が続いておりますが、堅調なアジア向け輸出に支えられ、粗鋼生産は前期に比べ増加する見通しであります。また、米国では鋼材市況の低迷により価格面で厳しい状況に置かれてましたが、足下では市況価格は回復傾向にあります。

総合エンジニアリング事業につきましては、官需、民需とも、市場環境は依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社はグループ経営強化の観点から、グループ全体での収益基盤の抜本的な再構築を図るべく、不採算事業からの撤退、グループ条鋼事業の再編、専門化を目指した分社化等を実施するとともに、徹底したコスト合理化を推進し、着実に成果をあげてまいりました。

その結果、連結業績につきましては、米国鉄鋼事業の市況低迷による悪化はあるものの、経常利益は160億円程度と、前期に比べ600億円程度の改善となる見込みであります。また、特別損益として事業構造の改革に伴う特別退職損失、資産処分損失等の負担もあり、当期損失は460億円程度と、前期比600億円程度改善する見込みであります。

一方、単独業績につきましては、経常利益は230億円程度、当期利益は30億円程度と、それぞれ500億円以上改善する見込みであります。

以上の状況を踏まえ、利益配当金につきましては、本日の取締役会におきまして、誠に遺憾ながら無配とする予定とさせていただきます。

当社といたしましては、先般策定いたしました「グループ中期経営計画」に則り、グループ全体での確固たる収益構造の確立と財務体質の改善を図ってまいる所存ですので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

		売上高	経常損益	当期損益
連 結	今 回 見 通 し	16,900 億円	160 億円	460 億円
	前 回 見 通 し (平成11年11月5日)	16,900 億円	160 億円	460 億円
	(参考) 前期実績	18,087 億円	448 億円	1,085 億円
単 独	今 回 見 通 し	10,000 億円	230 億円	30 億円
	前 回 見 通 し (平成11年11月5日)	10,100 億円	230 億円	30 億円
	(参考) 前期実績	10,136 億円	277 億円	503 億円

- 以 上 -

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

N K K 秘書部広報企画グループ
TEL 03 - 3217 - 2140